



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

日本のリノベーション建築の先駆者が語る これからの現代建築の在り方

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 \よく読まれている記事！/

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
37877Views
OTEMON VIEW編集部

2 2021.03.05 社会とくらし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
28084Views
OTEMON VIEW編集部

3 2020.08.03 ころもとからだ
「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？
16762Views
OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.24 ころもとからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
16723Views

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

少子高齢化や人口減少といった問題に直面する中、日本ではおよそ7戸に1戸が空き家という状態で、その維持管理が問題となることも少なくありません。

日本でリノベーションという言葉が使われ出す前の1999年にリノベーション作品を発表していた現代建築家の納谷 新教授(追大文学部美学・建築文化専攻)に、これからの日本における建築の在り方やリノベーションの可能性について聞きました。

(以下は主なポイント)

近年注目を集めるリノベーション物件

○高まるリノベーション人気と、根強い「新築信仰」
○「古い家は建て替えて当然」という常識に投じた一石
建築家・納谷新が手掛けてきたリノベーション建築の魅力に迫る

○広がる屋根——住まいを見つめ直し、豊かな暮らしを描ける家に(2019年・神奈川県横浜市)

○12SHINJUKU3CHOME——ワーク&ライフが融合するシェアオフィス(2021年・東京都新宿区)

ソフト面から考える建築。リノベーションは空き家問題の特効薬となるか？

○減築という決断の背景にあるのは、「引き算」の美学

記事本体:<https://newsmedia.otemon.ac.jp/2662>



納谷新教授がリノベーションを手掛けた築40年の自宅マンション(提供:/360°)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590 谷ノ内・仲西